

## 第3回日本神経学会脳卒中特別教育研修会（国立循環器病研究センター）における新型コロナウイルス感染予防対策

2020年8月13日（木）現在

### <1：入場時の対策>

- ・実参加 check in 時に予めダウンロードして記入した「健康状態申告書」を提出して貰う
- ・「健康状態申告書」に発熱の記載がないものに対しては非接触体温計を用いて体温測定を行う。発熱者は実参加を禁止しインターネット視聴参加に変更して頂く。
- ・事前参加登録で実参加人数を約 180 名に制限し、最大収容数の 50% 未満の入場制限とする。
- ・参加者のマスク着用を徹底する。持っていない人にマスク配布。
- ・スタッフの健康状態把握。出勤前の検温確認、咳、呼吸困難、倦怠感 → 体調不良時の出勤停止。

### <2：消毒の徹底>

- ・参加受付、会場入口、に除菌液を設置（アルコールスプレー、ジェル等）。
- ・会場内の演台と座長席に除菌液を設置（スプレー、ジェル等 → 登壇時に座長・演者の手指を消毒。キーボード、マウス、レーザーポインターなどに触れる前に使用してもらう）。
- ・スタッフによる演題毎の座長席の機器、演台、マイク、ドアの除菌作業実施（マイクは毎日滅菌消毒）。
- ・スタッフは業務前～業務終了後まで、マスク着用、頻回の手指消毒、咳エチケットを励行する。

### <3：換気の徹底>

- ・会場の出入口ドアは常時開放しておく。
- ・会場ならびに通路にある排気用換気扇は常時最大稼働させておく。

### <4：施設や 会場内での空間確保と感染予防>

- ・LIVE 配信する。
- ・会場への入室人数は最大収容数の 50%未満制限とする。
- ・各会場内の座席は 1m 以上の距離を確保するように配置する。
- ・ランチョンセミナーやコーヒブレイクセミナーでは、飲食中の会話は出来るだけ控え、食後は直ちにマスクを着用する。
- ・実参加者は医療関係者としての自覚を以って、政府が発行する濃厚接触追跡アプリ COCOA を 開会前 2 週間、会期中、閉会后 2 週間は使用する。
- ・実参加前に COCOA アラート通知が来たら PCR 検査を受けて陰性を確認してから参加する（PCR 検査機関はお手数ですがご自分で手配ください）。もし PCR 検査を受けること

が出来ない場合は 2 週間体調観察してから参加するか、インターネット視聴参加に切り替える。会期間中に COCOA アラートが通知されたら、研修会事務局に連絡し指示を待つ。

・演者間、座長は 2m 以上の間隔を置いてするか、間にアクリル板を設置する。演者、座長は聴講者から 2m 以上間隔を置いて席を配置する。質問などで距離が近くなる場合は、演者も座長も質問者もマスク着用のまま発言可。

#### < 5 : コロナ疑い者 への対応策 >

・もし会期中に参加者からコロナ患者が発生した場合は、上記アプリも活用し研修会中止も含めた緊急対応策を講ずる。

・会期終了後 3 週間は参加者からコロナ患者が発生するかどうかを追跡し（参加者への報告要請）、必要策を講ずる。

以上